



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社  
 コード番号 4112 URL <http://www.hodogaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 喜多野 利和  
 (氏名) 村上 康雄  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5299-8019  
 平成27年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,062	△1.9	17	△58.7	△47	—	△41	—
27年3月期第2四半期	16,377	△4.4	42	△29.3	△19	—	△69	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △921百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 911百万円 (31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.53	—
27年3月期第2四半期	△0.88	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	51,600	30,983	55.8
27年3月期	54,483	32,107	54.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 28,773百万円 27年3月期 29,569百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	2.50	4.50
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.8	800	0.5	600	△17.8	400	△35.8	5.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	84,137,261 株	27年3月期	84,137,261 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	5,079,313 株	27年3月期	5,074,511 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	79,059,651 株	27年3月期2Q	79,079,995 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。  
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済において、米国経済は、個人消費や雇用環境が回復基調で推移し、成長を維持しており、欧州経済は、個人消費がけん引となり、緩やかな回復が続いてきました。しかし、9月に発生した排ガス不正問題が、今後ドイツを主に景気に悪影響を及ぼす懸念があります。また、最近になって中国経済の減速傾向がはっきりしてくる中、世界景気へのマイナス影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。一方、わが国経済は、政府や日本銀行の財政・金融政策の効果や、円安の影響により、景気は緩やかな回復基調を継続していましたが、前述の世界の景気動向の影響を受け、10月の月例経済報告で、日本政府は、景気の現状判断を1年ぶりに引き下げており、景気の下振れリスクが強まっています。

このような情勢下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、機能性樹脂事業が引き続き堅調に推移しましたが、有機EL材料事業の競争激化による減収や、アグロサイエンス事業における顧客の在庫調整の影響などにより、前年同期比3億15百万円減の160億62百万円となりました。損益面では、売上高の減少により、減益となりましたが、固定費削減・コストダウンに努めた結果、17百万円の黒字を確保しました（前年同期比25百万円減）。また、経常利益は、前年同期比28百万円減（前期は19百万円の経常損失）の47百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比27百万円増（前期は69百万円の四半期純損失）の41百万円の損失となりました。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次の通りであります。

#### [機能性色素セグメント]

イメージング材料事業は、プリンター向け材料で依然厳しい状況が続いていますが、一部で新製品が採用されたこともあり、前年同期並みを確保しました。色素材料事業は、デジタル家電向けアルミ着色用染料が好調に推移し、また、食用色素も需要が回復しましたが、その他の染料で海外向けの需要が大幅に減少し、前年同期並みとなりました。有機EL材料事業は、スマートフォン向け需要の減少に加え、競争激化により、大幅な減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、39億28百万円となり、前年同期比2億58百万円（6.2%）の減収、となりました。

#### [機能性樹脂セグメント]

樹脂材料事業は、ウレタン原料が、国内外で安定した需要が続いたことに加え、期初に、建築用途向けが増えたことで、増収となりました。建材事業は、止水材料・工事が引き続き好調に推移しましたが、防水材料・工事が低迷し、前年同期並みとなりました。特殊化学品事業は、医薬品分野で堅調に推移しましたが、その他の分野で顧客の在庫調整があり、前年同期並みとなりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、60億79百万円となり、前年同期比90百万円（1.5%）の増収、となりました。

#### [基礎化学品セグメント]

過酸化水素事業は、紙パルプ、および環境分野向けの需要が堅調に推移しましたが、誘導品事業（過炭酸ナトリウム、過酢酸）の需要の減少や、その他の工業薬品で、一部製品の競争激化がありました。以上の結果、当セグメントの売上高は、33億76百万円となり、前年同期比18百万円（0.5%）の減収、となりました。

[アグロサイエンスセグメント]

アグロサイエンス事業は、メガソーラー向け除草剤が堅調に推移しましたが、家庭園芸用除草剤で顧客の在庫調整があり、減収となりました。  
以上の結果、当セグメントの売上高は、16億40百万円となり、前年同期比1億3百万円(6.0%)の減収、となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末(9月末)における資産合計は、516億円となり、前連結会計年度末(3月末)比28億83百万円の減少となりました。  
主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少20億9百万円、有形・無形固定資産の減少13億9百万円、現金及び預金の減少4億69百万円、有価証券の増加11億円等であります。  
負債合計は、206億16百万円となり、前連結会計年度末比17億60百万円の減少となりました。  
主な増減要因は、支払手形及び買掛金の減少8億13百万円、短期・長期借入金の減少6億66百万円等であります。  
純資産合計は、309億83百万円となり、前連結会計年度末比11億23百万円の減少となりました。  
主な増減要因は、為替換算調整勘定の減少3億39百万円、非支配株主持分の減少3億27百万円、利益剰余金の減少2億39百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億15百万円等であります。  
以上の結果、自己資本比率は55.8%となり、前連結会計年度末の54.3%から1.5ポイント改善しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日に発表した平成28年3月期の業績予想に、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)

及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,123	6,653
受取手形及び売掛金	11,863	9,853
有価証券	—	1,100
商品及び製品	3,212	3,290
仕掛品	292	216
原材料及び貯蔵品	893	1,127
繰延税金資産	100	54
その他	483	393
貸倒引当金	△20	△13
流動資産合計	23,948	22,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,594	7,360
土地	11,249	11,248
その他(純額)	4,781	3,067
有形固定資産合計	22,625	21,675
無形固定資産		
のれん	568	274
その他	406	340
無形固定資産合計	974	614
投資その他の資産		
投資有価証券	6,321	6,032
長期貸付金	17	26
繰延税金資産	147	139
退職給付に係る資産	79	121
その他	612	552
貸倒引当金	△243	△239
投資その他の資産合計	6,934	6,632
固定資産合計	30,534	28,923
資産合計	54,483	51,600

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887	4,074
短期借入金	6,134	6,366
未払法人税等	171	152
引当金	373	381
その他	1,051	905
流動負債合計	12,618	11,881
固定負債		
長期借入金	6,228	5,329
繰延税金負債	1,638	1,577
再評価に係る繰延税金負債	1,297	1,297
引当金	112	112
資産除去債務	60	59
その他	419	357
固定負債合計	9,757	8,735
負債合計	22,376	20,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	9,589	9,589
利益剰余金	4,084	3,844
自己株式	△1,699	△1,699
株主資本合計	23,171	22,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,614	1,398
土地再評価差額金	2,714	2,714
為替換算調整勘定	1,567	1,228
退職給付に係る調整累計額	501	501
その他の包括利益累計額合計	6,397	5,842
非支配株主持分	2,537	2,210
純資産合計	32,107	30,983
負債純資産合計	54,483	51,600



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	16,377	16,062
売上原価	11,535	11,226
売上総利益	4,841	4,835
販売費及び一般管理費	4,799	4,817
営業利益	42	17
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	52	59
為替差益	87	—
固定資産賃貸料	33	31
助成金収入	35	2
雑収入	27	45
営業外収益合計	251	152
営業外費用		
支払利息	75	66
退職給付費用	153	20
為替差損	—	49
雑損失	84	81
営業外費用合計	313	217
経常損失(△)	△19	△47
特別利益		
固定資産売却益	0	13
投資有価証券売却益	87	—
補助金収入	17	3
受取補償金	5	—
特別利益合計	111	16
特別損失		
固定資産除却損	1	4
損害賠償金	—	20
特別損失合計	1	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	90	△56
法人税等	94	159
四半期純損失(△)	△3	△215
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	66	△173
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69	△41

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△3	△215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286	△215
為替換算調整勘定	474	△490
退職給付に係る調整額	153	0
その他の包括利益合計	914	△705
四半期包括利益	911	△921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712	△596
非支配株主に係る四半期包括利益	198	△324

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	90	△56
減価償却費	789	928
のれん償却額	256	273
引当金の増減額(△は減少)	△22	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	125	△34
受取利息及び受取配当金	△67	△72
支払利息	75	66
為替差損益(△は益)	△62	52
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△13
固定資産除却損	1	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△87	—
受取補償金	△5	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,769	2,001
たな卸資産の増減額(△は増加)	△224	△270
仕入債務の増減額(△は減少)	△163	△804
その他の資産・負債の増減額	△218	28
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38	△94
その他	△10	29
小計	2,207	2,036
利息及び配当金の受取額	68	74
利息の支払額	△74	△66
補償金の受取額	5	—
法人税等の支払額	△146	△258
法人税等の還付額	174	66
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,235	1,852
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△54	△946
定期預金の払戻による収入	80	404
有形及び無形固定資産の取得による支出	△177	△223
有形及び無形固定資産の売却による収入	10	42
投資有価証券の取得による支出	△97	△0
投資有価証券の売却による収入	216	—
貸付けによる支出	△5	△16
貸付金の回収による収入	17	14
差入保証金の差入による支出	△57	△4
差入保証金の回収による収入	6	33
その他	△0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62	△695

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8	—
長期借入れによる収入	1,950	—
長期借入金の返済による支出	△900	△666
配当金の支払額	△157	△196
非支配株主への配当金の支払額	△40	△2
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
リース債務の返済による支出	△15	△17
その他	△71	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	754	△883
現金及び現金同等物に係る換算差額	161	△118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,089	155
現金及び現金同等物の期首残高	4,190	6,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,280	6,810

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に対 する売上高	4,186	5,989	3,394	1,744	15,315	1,061	16,377	—	16,377
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	80	83	143	—	307	682	990	△990	—
計	4,267	6,073	3,537	1,744	15,623	1,744	17,367	△990	16,377
セグメント利益 又は損失(△)	△513	181	63	49	△218	261	42	△0	42

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、  
ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料、防水・止水工事  
ホスゲン誘導品(医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体)
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、  
研究受託業務等を含んでおります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客対 する売上高	3,928	6,079	3,376	1,640	15,025	1,036	16,062	—	16,062
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	74	67	121	—	263	696	959	△959	—
計	4,002	6,147	3,498	1,640	15,288	1,732	17,021	△959	16,062
セグメント利益 又は損失(△)	△764	339	279	△25	△170	188	17	△0	17

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等  
(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、  
ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料、防水・止水工事  
ホスゲン誘導品(医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体)  
(3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料  
(4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。